



2018年2月に同窓会「写専会」が開かれた。  
なんと100人以上の参加数。これは驚き！  
集合写真では前列に「ピカピカ頭」後ろには若い卒業生。  
写専の誇りは永久に不滅です。

写専会 × 第60期生

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol.44

# UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY



赤澤からのお願いです。  
来年も写専会に来てね。

母校の101教室には、溢れんばかりに卒業生たちが集合した。遠方からは沖縄在住の大塚氏、京都からは伊藤先生、滋賀からはマツシマスヌム氏、三重からは川地先生など、大阪以外からも大勢の卒業生が出席してくれました。人数が多いと熱気が湧きます。このエネルギーが最高のアドレナリンを出すのです。赤澤会長の挨拶を皮切りに、懐かしい思い出話で大盛り上がり。「やっぱり、写専」と話もお酒も進むひと時、卒業生の中には子ども連れの出席者もいて、子どもたちは同級生たちに抱っこされてキャーキャーの一幕も。写専会パーティーが開場するまで、子どもたちは校長室で待機。校長室は託児所状態でした。

誰かが叫ぶ「おーい、酒が足らないゾ」「はーい、今すぐに」先輩後輩の連携も気持ちがいい。三代目校長の後藤先生のご逝去を悼み黙祷。後藤先生は写専の功労者です。いつまでも卒業生たちの心に刻まれ残り続けるでしょう。

今年度の卒業作品から、写専会が選ぶ「同窓会賞」の発表があり、在校生を喜ばせました。また、伊藤先生には「功労賞」として感謝状が贈られました。第2期生で東京在住の写真家・鋤田正義氏が主演のドキュメント映画が製作され、5月に全国にて公開されます。そんなホットニュースを卒業生全員が嬉しく思い、誇りに思う情報交換の場にもなりました。

愉しい時間はあつという間に過ぎていきます。「今晚の楽しい話は沖縄に帰って、卒業生仲間に伝えますよ」と大塚氏は笑顔を見せた。2時間あまりの写専会終了の教室には、みんなの笑顔のシルエットが残っていた(は)

母校の101教室には、溢れんばかりに卒業生たちが集合した。遠方からは沖縄在住の大塚氏、京都からは伊藤先生、滋賀からはマツシマスヌム氏、三重からは川地先生など、大阪以外からも大勢の卒業生が出席してくれました。人数が多いと熱気が湧きます。このエネルギーが最高のアドレナリンを出すのです。赤澤会長の挨拶を皮切りに、懐かしい思い出話で大盛り上がり。「やっぱり、写専」と話もお酒も進むひと時、卒業生の中には子ども連れの出席者もいて、子どもたちは同級生たちに抱っこされてキャーキャーの一幕も。写専会パーティーが開場するまで、子どもたちは校長室で待機。校長室は託児所状態でした。

今年度の卒業作品から、写専会が選ぶ「同窓会賞」の発表があり、在校生を喜ばせました。また、伊藤先生には「功労賞」として感謝状が贈られました。第2期生で東京在住の写真家・鋤田正義氏が主演のドキュメント映画が製作され、5月に全国にて公開されます。そんなホットニュースを卒業生全員が嬉しく思い、誇りに思う情報交換の場にもなりました。

今年度の卒業作品から、写専会が選ぶ「同窓会賞」の発表があり、在校生を喜ばせました。また、伊藤先生には「功労賞」として感謝状が贈られました。第2期生で東京在住の写真家・鋤田正義氏が主演のドキュメント映画が製作され、5月に全国にて公開されます。そんなホットニュースを卒業生全員が嬉しく思い、誇りに思う情報交換の場にもなりました。